

News

日本農芸化学会関西支部会 第487回講演会

12月6日(土)、神戸大学大学院農学研究科にて日本農芸化学会関西支部会 第487回講演会が開催された。本学会には我々の研究室から小寺裕貴(M2)が参加し、数名の学生が受付などの手伝いを行った。



自身の発表が終わり、安堵の声を漏らしながら弁当を持って歩く小寺(M2)。

会場が神戸大学ということもあって神大生が多く発表しており、懇親会もアットホームな雰囲気で行われたようだ。

年末・超大掃除

12月19日(金)、半年に1度開催される研究室の一大イベント『超大掃除』が行われた。月一の大掃除とは異なり、この超大掃除では研究室の隅々まで徹底的に掃除するため、研究室の学生ら総出で朝から夕方までしっかり時間をかけて行う。常日頃からお世話になっている研究室に感謝しながら、今年一年の汚れを落とし新年を迎えるための準備をした。



培養前室で掃除機をかける岡早紀子(M1)と棚の整理をする谷野有佳(D3)。皆が頑張ったおかげでとても綺麗になりました。

応用生命化学コース 縦飲みコンパ

12月19日(金)、超大掃除の後には応用生命化学コースの縦飲みコンパが開催された。この縦飲みコンパ、通称『縦コン』は応用生命化学コースに所属する B3の学生らが来年度に配属される研究室を決めるために各研究室の先輩や教授らに話を聞くための飲み会である。



縦コン1次会の一枚。写真では M1らが久々に同期との集まりを楽しんでいるだけの様に見えるが、もちろん後輩ともたくさん喋っています。

1次会は LANS の食堂半分を貸し切って立食パーティー形式で行われた。B3の幹事の挨拶によってスタートすると、B3らが積極的に興味のある研究室の話聞く様子が見られた。また2次会は研究室ごとに開催され B3は意中の研究室へ訪問する形式となる。盛り上がってくると学生ら、さらに教授陣もが他の研究室を巡り始め、混沌とした飲み会へと変貌を遂げるのは毎年のご愛嬌である。



2次会の準備をする宮本岳(M1・左)と岩見志歩(M2・右)。テーブルには寿司などの豪華な料理が並んだ。



2次会での1枚。藤嶽暢英教授(土壌学・左)、吉田健一教授(微生物機能化学・中央左)、水野雅史教授(中央右)と名だたる教授陣が集合。また、林大輝(動物資源利用化学 M2・右)も参入し大いに盛り上がった。

クリスマスツリー設置

12月22日(月)、橋本堂史准教授の提案(?)で研究室にクリスマスツリーを飾ることに。岡(M1)や網野紗与(M1)らがツリーの飾り付けを行い、研究室に一気にクリスマスムードが漂い始めた。



完成したツリーと共に撮影。手前から網野(M1)、小田あかね(M2)、小寺(M2)。

忘年会

12月26日(金)、2014年の研究室生活のメとして忘年会が開催された。今年一年を振り返りながら、また近況について語り合う内に1次会は終了。2次会へ向かう途中に突然パチンコ店へ駆け込んだ人がいるなど少々波乱(?)もあったようが、皆思い思いの忘年会を楽しく過ごした。



宴会開始の挨拶をする水野教授。手前でオレンジジュースらしきものを飲んでいるのは一体…?

論文・学会発表

学会発表)

日本農芸化学会関西支部会
第487回講演会(神戸大学)
2014年12月6日(土)

○小寺裕貴、橋本堂史、石村麻耶、藍原祥子、金沢和樹、三宅秀芳、吉田優、水野雅史「6-メチルスルフィニルヘキシルイソチオシアネートの細胞周期開始抑制機序に関する研究」講演要旨集 p.3

編集後記

年末に体調を崩してしまう人が多数見られ、私も39℃の高熱にうなされながら年越しを迎えました。年明けからは B4は卒論、M1は中間発表、M2は修論に向けてそれぞれ忙しくなることと思われます。体調管理に気をつけながら頑張っていきましょう。2014年は大変お世話になりました。来年度も引き続き宜しくお願い致します。

嘉正 雄太(M1)